

つづく通信2019 vol.3

知って遊んで食べてみて！ はじめてのブルーシーフード

11月9日(土)に、マルシェが開催されている中庭をお借りして、ブルーシーフードに関するイベントを3つ行いました。1つ目が紙芝居、2つ目がおさかなパズル、3つ目がマルシェでのカレー缶詰の試食・販売です。その時の様子をお知らせします!!!

今回のイベントでアプローチしたSDGsのゴールは…

14 海の豊かさを守ろう



海の汚染を減らしたり、漁業の方法を考えることで、海の生態系を保護、回復させていこうという目標です。海は川を通じて私たちの生活とつながっています。また、日常の食卓で海の食材をいただいている。距離的には遠くても、実は日ごろの生活に密接につながっているのが海なのです。海の豊かさのためにも何ができるのか、考えていきましょう！

ブルーシーフードってなに？



ブルーシーフードガイドは、セイラーズフォーザシー日本支局が制定している魚介類のリストで、「資源量が比較的多く」「乱獲になりにくい漁法で獲られている」魚介類が載っています。魚介類は一定数いれば、自然に繁殖して数は増えていきます。この増えるペース以上に多くの量を漁獲すると、資源量（魚介類の量）が回復せずに減ってしまいます。この点に配慮した「美味しい楽しく地球に優しい」魚介類をブルーシーフード（Blue Seafood）と言います。

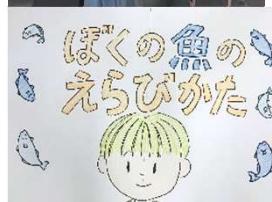
このイベントの目的は？

今回のイベントは、まずブルーシーフードの考え方を知ってもらうことが目的でした。今は魚の保存技術が発達して、日本中、世界中の魚を食べることができます。その半面、どこで魚を獲っても、輸出することで鮮度を保ちながら売ることができるようになったので、人気のある魚の乱獲が後を絶ちません。魚の自然の回復力を超えた乱獲をしてしまうと、どんどん資源量が減って最終的には絶滅してしまうので、乱獲は避けなければなりません。近年消費量が減ってきてはいますが、それでも日本は世界でも有数の魚介消費国であり、たくさんの魚介類を世界から輸入しています。そんな魚介類の中からブルーシーフードを選ぶことで、毎日の買い物を通じて海の豊かさを守る手助けができるることを知ってもらえて幸いです。また、この考え方を知るだけでなく、実際に食べてもらうことで、日ごろの食事にたまに魚介類がたくさんブルーシーフードに含まれていることを知り、よりブルーシーフードを身近に感じていただきたいと思い、（株）カンブライトとエコ～るど京大で共同開発した「ブルーシーフードカレー缶詰」の試食・販売も実施しました。

当日の様子

紙芝居スタート！

紙芝居は計5回行い、のべ50人ほどの方に聞いていただきました。子供たちはどんな紙芝居が始まるのか、みんな興味津々。あ、お兄さんお姉さんが紙芝居を読み始めたよ！ 続きはどうなるんだろう？



- ① ブリ
- ② ベニザケ
- ③ ホタテ

主人公は小学3年生のけいちゃん。お使いを頼まれてお魚を買いに行くところからお話を始めます。

おさかな博士登場！ けいちゃんにブルーシーフードの解説をしています。

途中にはクイズも！ どれがブルーシーフードかみんな真剣に考えてくださいました。（答えは裏面の下）



←ブルーシーフードだけ完成するおさかなパズル。みんな上手にできていました！

試食では3種類すべて提供→色々な感想をいただきました。写真はカキのココナツツカレーです。（イメージ）



参加者の声

紙芝居の絵が綺麗でわかりやすかったです。（女の子） こんな考え方があるなんて知らなかった。勉強になりました。（お母さん）

マルシェの方の声

魚を卸していると、昔と比べて数が減ったりサイズが小さくなったりしている。今まで食べてきた魚をこれからもずっと美味しいために、このような取り組みがあるのはいいことだと思う。（魚介類を提供していたマルシェの方）

エコ～るど京大担当者の声

まず紙芝居を通じてブルーシーフードの考え方を親子ともに知ってもらい、子どもたちはパズルで、保護者の方にはカレーを通じてブルーシーフードを身近に感じてもらえたと思います。環境を守るために我慢するのではなく、地球に優しい海産物を選んで美味しい楽しく食べてもらえばと思います。（上田）

春休みに第4弾の開催も予定中！ 詳細をお楽しみに!!



コラボしてくださるテナントさん大募集！！

お店の自慢や悩み、SDGsと絡めてイベントにしてみませんか？何でも相談に乗ります！興味をお持ちの方はこちらまで↓

上田（エコ～るど京大 つづくプロジェクト担当）: ueda.tomoya.83a@st.kyoto-u.ac.jp

エコ～るど京大

SDGsってなに！？



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年の国連サミットで採択された2016年～2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。

現代に存在する様々な社会問題は相互に関連し合っているため、多角的な視点から問題を見ていかなければなりません。SDGsはあらゆる問題を解決するための目標であり、それらを一度に考えるための便利なツールなのです。また問題を解決するためには1人1人の行動が鍵となります。一見難しそうですが簡単なことから行動してみましょう。するとだんだん世界に対する見方が変わってくるかもしれません。

17のゴールを詳しく見てみよう！



1, 貧困をなくそう
地球上のあらゆる貧困をなくそう



4, 質の高い教育をみんなに
誰もが公平に、良い教育を受ける機会を広めよう



7, エネルギーをみんなにそしてクリーンに
誰もが安全なエネルギーを利用できるようにしよう



10, 人や国の不平等をなくそう
世界中から不平等をなくそう



13, 気候変動に具体的な対策を
気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう



16, 平和と公正をすべての人に
平和で全ての人が法や制度で守られる社会をつくろう



2, 飢餓をゼロに
みんなが食べ物を手に入れられるよう農業を進めよう



3, 全ての人に健康と福祉を
誰もが健康で幸せな生活を送れるようにしよう



5, ジェンダー平等を実現しよう
男女平等を実現しよう



6, 安全な水とトイレを世界中に
誰もが安全な水とトイレを利用できるようにしよう



8, 働きがいも経済成長も
生産的な仕事をして、安定した経済成長を進めよう



9, 産業と技術革新の基盤をつくる
災害に強いインフラを整え、安定した産業化を進めよう



11, 住み続けられるまちづくりを
ずっと安全に暮らせて、災害にも強い街をつくろう



12, つくる責任つかう責任
地球の環境と健康を守るため、責任ある行動をとろう



14, 海の豊かさを守ろう
海の資源を大切に使おう



15, 陸の豊かさも守ろう
陸の資源を大切に使おう



17, パートナーシップで目標を達成しよう
世界の全ての人が協力し合い、目標を達成しよう

ここにちは！エコ～るど京大です！

エコ～るど京大は、京都大学の教職員と学生有志が主体となり、誰もが参加できるイベントを通じた環境意識の向上を目指して活動しています。学内はもちろん、地域の人々も巻き込んで、時に楽しく、時に真面目に環境問題を考える場を設け、様々な規模での「持続可能性（サステイナビリティ）」について、京大らしいやり方で手広く活動を繰り広げています。

イベントを開催したり、逆にBRANCH松井山手で開催されるイベントに参加したり…今後松井山手に京大生がお邪魔させていただきます。ショッキングピンクのTシャツが目印です！どうぞよろしくお願ひします!!

詳しい情報は
こちらをチェック！



エコ～るど京大
ホームページ



BRANCH松井山手×エコ～るど京大 つづくプロジェクトって？

エコ～るど京大がBRANCH松井山手を舞台に、地域の皆様とSDGsに関するイベントを開催するプロジェクトです。難しそうに聞こえますが「楽しい！おもしろい！」を第一条件にイベントを開催していきます。BRANCHの商品の良さを知ることができたり、家族みんなで学べたり、参加すると生活が豊かになったり…松井山手の皆様にとって有意義なイベントになるよう、尽力していきます！

楽しみながら、持続可能な活動を続けていくことで、松井山手が「持続可能な地域」になることが目標です。皆さんぜひ！興味のあるイベントに参加してみてください！

よろしくお願ひします！



イベントのようす

